

第 6 回郡山市上下水道事業経営審議会 議事概要

日 時	令和 7 年 8 月 21 日（木） 午後 1 時 1 5 分～午後 2 時 4 0 分
場 所	郡山市上下水道局 5 階 大会議室
出席者	【委員：13 名】 中野和典会長、小林裕子副会長、明田想平委員、粟野博行委員、伊藤江梨委員、太田善雄委員、大槻礼子委員、渋谷正夫委員、橋本優子委員、藤沼祥子委員、満田仁一委員、茂原伸幸委員、渡邊博之委員 【事務局：20 名】 緑川上下水道事業管理者 外

1 開会	
事務局	第 6 回郡山市上下水道事業経営審議会を開会する。
2 会長あいさつ	
会 長	本日は、令和 6 年度の上下水道事業の決算見込の報告、下水道使用料についての整理となる。 前回の審議会は水道料金についてであったが、今回の下水道会計は一般会計からの繰り入れや補助金等の公費を財源としていることで、会計の仕組みや使用料算定の考え方が異なる。 次回の審議会で予定している、水道料金、下水道使用料等の最終審議に向け、特に下水道事業の考え方を皆様の中で整理していただき、次の審議会に向けてご意見を頂きたい。
3 審議	
事務局	出席者は 13 名、全員が出席している。 郡山市上下水道事業経営審議会条例第 5 条第 2 項により、出席者が過半数であるため、本日の会議は成立していることを報告する。 議事は会長が議長となり進めていただく。
議 長	本日の傍聴希望者はいるか。
事務局	本日の傍聴希望者はいない。
① 令和 6 年度決算（見込）について（資料 1）	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料 1】令和 6 年度上下水道事業会計決算の概要について 説明
議 長	委員から意見等あればお願いしたい。
委 員	Q 1 水道事業の令和 6 年度予算と令和 5 年度決算の乖離について、人口が減少するのが分かっていて、なぜこの多めの予算立てをしたのか伺いたい。 Q 2 下水道事業の資産減耗費が予算と乖離している理由を伺いたい。
事務局	A 1 給水収益の予測値は、平成 30 年度の国立社会保障・人口問題研究所の人口予測を使っているためであった。今後は令和 5 年度に改定した予測値を使用するため、より実態に合った数値になる予定である。 A 2 主な理由としては、下水道管理センターの撤去工事を翌年度に繰り越したことに よるものである。
委 員	国立社会保障・人口問題研究所の数値の更新が約 5 年間隔のため、3 年目頃から現状

	と差が大きくなることから、独自予測をしていくべきと思う。
委 員	下水道事業で一般会計からの繰り入れを雨水処理分として増額しているが、どのような内容か。
事務局	営業収益の他会計負担金については、一般会計からの負担金であり、雨水の利用料のようなイメージのもので、維持管理費が上がったことにより、負担金も上がったものである。
委 員	それはなぜ上がったのか。
事務局	前年度までに雨水貯留管の整備が終わり、固定資産として取得したことで、減価償却費が増加した。 また、この整備に係る企業債の支払利息が増えたため、一般会計からの負担金が増えたことによるものである。
議 長	数年間のグラフから傾向を見るのも重要かと思う。 水道事業は、少しずつ収益的支出が上がっているが、長い目で見ると純利益が少しずつ下がっている。 下水道事業は、少しずつ下水道使用料が下がり気味で、収益的支出は少しずつ上がっているというような、傾向で見るのも大事かと思う。
委 員	水道事業・下水道事業とも企業債残高を減らしており、素晴らしいと感じている。 第5回審議会では企業債の建設投資における発行割合の適正の話が出たが、水道事業については、郡山市の場合は全国平均より低く、企業債ではなく内部留保資金で建設投資をしている事業体である。 企業債残高を減らした反面、建設投資や更新をやめてしまう事業体がある中で、郡山市は建設投資をしっかりと進めつつ、これだけ企業債を減らしているのは素晴らしい。
② 下水道使用料について（資料2）	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料2】下水道使用料について】説明
議 長	委員から意見等あればお願いしたい。
委 員	本審議会の令和3年11月の答申において、資産維持費は今後の国の制度変更等に応じて検討するのが望ましいとしたが、国の制度はどのような傾向にあるのか教えてほしい。
事務局	令和3年頃に「下水道財政のあり方に関する研究会」を国が開催し、20立方メートルで3,000円という水準が出たが、その後に金額等の変更はされていない。 今後も同様の研究会が開催され、制度が変更になれば、変更に合わせて資産維持費を計上していきましょうという内容である。
委 員	下水道使用料の改定が行われる際は、基本水量制の解消を検討すると令和3年11月の審議会でも議論しているが、過去に議論の対象になった部分は、再度現状に合わせて再評価すべきではないかと意見を申し上げさせていただく。
事務局	下水道使用料を改定する際は、基本水量制の廃止と従量制の7段階を徐々に少なくしましょうという議論を令和3年に行っている。 国の方向性も踏まえ、改定の際は答申に入れるよう、事務局側でも引き継ぎしている。
委 員	湖南特定環境保全公共下水道の経費回収率は年々上がっているのか、下がっているのか推移を知りたい。
事務局	経費回収率は年々下がっている傾向にある。
委 員	このまま経費回収率が下がると、一般会計繰入金が上がっていくのが続くと思うが、湖南地区の下水道使用料のみ値上げするのは違うと思っている。

	人口が減少しているエリアで、下水道の推進や合併処理浄化槽の推奨など、汚水処理についてどう考えているのか。
事務局	湖南地区の汚水処理については、将来の人口減少も踏まえ継続して検討しているが、職員同士で勉強会も行いより良い方向を考えている。
委員	湖南町は人口が非常に減少しており、郡山市全体で湖南町の下水道使用者の負担を平準化するか、その状況をどこまで続けるかどうかは、結論が出なくても議論に上げることが必要と思っている。
議長	湖南特定環境保全公共下水道の処理場は、普通の下水処理場よりも高度な処理をしているため、維持管理費が高いという部分がある。 猪苗代湖は本市の水道水源でもあるため、下水処理をきちんと行わないと水道の水質に影響がでる特別な事情もあり、その部分を皆様で共有できればと思う。 今日の議論を踏まえて、下水道使用料についての最終的な審議を、次回の審議会で行うことになる。
4 その他	
議長	審議事項は以上となるが、委員及び事務局から意見等あればお願いしたい。
事務局	【次回の審議会日程について】説明
議長	議論の円滑な進行にご協力いただき感謝する。委員からの質問が無いのであれば審議を終了する。
委員一同	意見なし。
5 閉会	
事務局	以上をもって、第6回郡山市上下水道事業経営審議会を閉会する。